OKAYAMA INTERNATIONAL EXCHANGE
令和7年
2025.9 No.160

おかやま国際交流

岡山国際交流センター 30th
35th 岡山県国際交流協会
Anniversary

PIEF
Okayama Prefectural International Exchange Foundation

Index 目次

特集 P2・3
岡山国際交流センター開設30周年・協会創立35周年記念

令和6年度 情報公開 P4

事業報告 P5
親子で遊ぼう ～Family Friendly Event～

外国人エッセイ 私の何でも自慢 P6
ヤン・ウーさん

Worldなんしょん なぁ～Now?～岡山人からの便り～ P7
佐桑 理恵さん（オーストラリア）

ボランティア活動しています！ P8
谷口 由美さん

作ってみよう！世界のレシピ P8
武汉热干面（中国）

JICA寄稿 P9
JICA海外協力隊2025年度秋募集 ほか

地域日本語教育事業レポート P9
「あかいわにほんご教室」からこんにちは

イベントカレンダー P10
国際貢献NGOフェアほか

一般財団法人 岡山県国際交流協会

特集

岡山国際交流センター開設30周年・一般財団法人 岡山県国際交流協会創立35周年記念

開設30周年を迎えて

一般財団法人 岡山県国際交流協会
代表理事
野﨑　泰彦

岡山国際交流センターは、県民と外国人との相互理解を深め、交流を推進し、地域の国際化を図ることを目的に平成7年6月に開館し、本年、30周年という大きな節目を迎えることができました。

これも県民の皆様をはじめ、当センターの活動にご尽力いただいた県、市町村、市町国際交流協会等の関係機関、関係団体、ボランティアの方々のご支援・ご協力の賜物であり、皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。

この30年間、県内で暮らす外国人は約2.6倍と大幅に増加し、出身国・地域も多様化しており、少子高齢化に伴う人材不足を背景とした外国人材への期待の高まりにより、今後もこの傾向が続くものと思われます。

当センターの取組も、スキー、ボウリング等のスポーツ交流、写真展、フェスティバルといった草の根の国際交流を中心とする取組から、国際貢献・協力の取組の促進、互いの文化や考え方を尊重し安心して快適に暮らすことができる多文化共生社会の実現に向けた取組へと時代の移り変わりと共に変化してまいりました。

こうした流れをくみ、現在は、外国人からの様々な相談に対応する外国人相談センター業務や、生活するために必要不可欠な日本語の学習機会の場の提供、大規模な災害時における外国人支援等に重点を置いた業務を進めているところです。

今後とも、岡山で暮らす外国人が岡山に来て良かったと思えるよう、岡山国際交流センターは地域の国際化を推進する中核拠点として、多文化共生社会の実現に向けた様々な取組を展開してまいりますので、皆様には、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いします。

祝辞

岡山県知事
伊原木 隆太

一般財団法人岡山県国際交流協会が創立35周年の節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

岡山県国際交流協会は、豊かな地域の文化の創造に向けて、すべての県民の参加による多様な国際交流の推進母体を作ろうという高い志のもと、経済界、国際交流団体、県、市町村などの協力により平成3年3月に創設されました。

以来35年間、協会は本県の国際交流に重要な役割を果たし、地域社会と世界との架け橋として多くの成果を上げるとともに、本県における多文化共生社会づくりの推進に大きく貢献しておられますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

我が国におきましては、人口減少や高齢化が急速に進行する一方、経済や社会のグローバル化の進展により、この35年間で在留外国人数はおよそ3倍に増加し、今後も国内の労働力不足などを背景に更なる増加が見込まれています。

本県の在留外国人数も、令和6年末時点で約3万9千人と、県民の概ね50人に1人は外国人という状況であり、日常生活において、外国人と地域住民が相互に理解し合い、協働しながら、誰もが住みやすい地域づくりを進めていくことが一層重要となっています。

こうした中、県では、「第4次晴れの国おかやま生き活きプラン」に基づき、外国人を含むすべての人が住みやすい多文化共生社会づくりを推進するため、コミュニケーション支援の中核となる日本語学習環境の整備をはじめ、岡山県外国人相談センターにおいて外国人に対する多言語での生活相談や情報提供のほか、住民とのパイプ役となる人材育成や各種交流会の充実など、協会とともに、さまざまな事業を強力に推進しています。

協会におかれましては、本県における国際交流や多文化共生を担う中核組織として、その役割はますます大きくなっています。長年の多岐にわたる活動で蓄積された経験や培われたノウハウを生かし、時代の変化に対応しながら、県民の皆さんやNGO・NPO、企業など、多様な主体と連携したさまざまな取り組みを一層推進されることを期待しています。

今後とも、岡山県国際交流協会の更なるご発展と、関係の皆さま方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和7年度 国際貢献・協力セミナー

（岡山国際交流センター開設30周年記念講演会）

映像が語る世界の現実と国際貢献の力

―ショートフィルムが紡ぐ未来への道―

別所 哲也 氏

俳優／国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル＆アジア」代表

90年日米合作映画『クライシス2050』でハリウッドデビュー。米国俳優協会（SAG）メンバー。その後、映画・テレビドラマ・舞台・ラジオ等で幅広く活躍中。99年より、日本発の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル＆アジア」を主宰。04年、米国アカデミー賞公認映画祭に認定。これまでの取り組みにより、文化庁文化発信部門長官表彰受賞。観光庁「VISIT JAPAN 大使」、内閣官房知的財産戦略本部コンテンツ強化専門調査会委員、カタールフレンド基金親善大使、映画倫理委員会委員、外務省「ジャパン・ハウス」有識者諮問会議メンバー、東京観光大使、立命館大学ビジネススクール客員教授に就任。内閣府「世界で活躍し『日本』を発信する日本人」の一人に選出。第1回岩谷時子賞奨励賞 受賞。第63回横浜文化賞 受賞。

2025.10.12（日）

参加無料 ／ 定員120名（要申込み、先着順）

14:00-16:00 ［開場］13:30

岡山国際交流センター 2F 国際会議場(岡山市北区奉還町2-2-1)

俳優として映画、舞台、テレビなどで幅広く活躍し、国際貢献活動にも積極的に取り組んできた別所 哲也氏が、これまでの国際貢献活動で得た貴重な経験や、活動を通じた想いを語るとともに、別所氏が厳選したショートフィルムを上映します。映像を通じて世界の現実を知り、未来に向けて私たちはどのように行動すべきか、別所氏と一緒に考えます。

［申込み］ 協会ウェブサイトの「協会からのお知らせ」にある「イベント参加申し込み」フォームまたは電話、来館でお申し込みください。

主催：一般財団法人岡山県国際交流協会
共催：岡山発国際貢献推進協議会
後援：（特活）岡山県国際団体協議会、JICA中国

問合せ：（一財）岡山県国際交流協会 企画情報課
住所：〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
電話番号：086-256-2914（月～土 9-17：00）
E-mail：info@opief.or.jp
サイト：https://www.opief.or.jp/

情報公開

令和6年度収支計算書（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

総括表

（単位：円）

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計
Ⅰ事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	7,058,298	7,058,298	0
② 特定資産運用収入	161,437	161,437	0
③ 会費収入	1,004,000	1,004,000	0
④ 事業収入	632,562	6,000	626,562
⑤ 負担金収入	965,189	545,906	419,283
⑥ 補助金等収入	108,780	108,780	0
⑦ 受託事業収入	57,050,600	4,357,371	52,693,229
⑧ 利用料金収入	73,324,080	0	73,324,080
⑨ 雑収入	8,682,746	4,602,732	4,080,014
事業活動収入計	148,987,692	17,844,524	131,143,168
2 事業活動支出			
① 事業費支出	162,096,357	8,819,519	153,276,838
② 管理費支出	16,702,100	16,702,100	0
④ その他の支出	71,000	0	71,000
事業活動支出計	178,869,457	25,521,619	153,347,838
事業活動収支差額	△ 29,881,765	△ 7,677,095	△ 22,204,670
Ⅱ投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 基本財産取崩収入	0	0	0
② 特定資産取崩収入	42,045,496	42,045,496	0
投資活動収入計	42,045,496	42,045,496	0

（単位：円）

科　　目	合　　計	一般会計	特別会計
2 投資活動支出			
① 基本財産取得支出	0	0	0
② 特定資産取得支出	26,371,535	26,371,535	0
投資活動支出計	26,371,535	26,371,535	0
投資活動収支差額	15,673,961	15,673,961	0
Ⅲ財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
① 他会計貸付金回収収入	0	0	0
② 他会計借入金収入	30,000,000	0	30,000,000
財務活動収入計	30,000,000	0	30,000,000
2 財務活動支出			
① 他会計貸付金支出	30,000,000	30,000,000	0
② 他会計借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	30,000,000	30,000,000	0
財務活動収支差額	0	△ 30,000,000	30,000,000
Ⅳ予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 14,207,804	△ 22,003,134	7,795,330
前期繰越収支差額	22,385,074	38,685,390	△ 16,300,316
次期繰越収支差額	8,177,270	16,682,256	△ 8,504,986

一般財団法人岡山県国際交流協会 評議員名簿

令和7年6月16日現在

役職名	氏　名	職　名
評議員	池永　亘	岡山県町村会事務局長
〃	神﨑浩二	岡山県経済団体連絡協議会事務局長
〃	久山裕士	一般社団法人 岡山経済同友会 専務理事・事務局長
〃	五福明夫	公立大学法人 岡山県立大学学長
〃	下野間　豊	岡山県県民生活部長
〃	髙橋邦彰	岡山商工会議所専務理事
〃	松畑熙一	国立大学法人 岡山大学名誉教授
〃	光藤伸史	岡山県市長会事務局長
〃	山本総一	株式会社 中国銀行 代表取締役専務執行役員
〃	若林利昭	日本貿易振興機構（ジェトロ）岡山貿易情報センター所長

（五十音順）

一般財団法人岡山県国際交流協会 役員名簿

令和7年6月20日現在

役職名	氏　名	職　名
代表理事	野﨑泰彦	岡山県経営者協会会長
業務執行理事	木村俊之	一般財団法人 岡山県国際交流協会事務局長
理事	浦上典江	NPO法人 岡山日本語センター理事長
〃	大月史嗣	学校法人 加計学園国際交流局長
〃	岡﨑あゆ美	岡山市市民協働局市民協働部国際課長
〃	近藤英生	NPO法人 津山国際交流の会事務局長
〃	島津義昭	国際貢献大学校運営機構理事長
〃	杉山愼策	NPO法人 こくさいこどもフォーラム岡山理事・国際塾塾長
〃	竹井恵子	一般社団法人 大学女性協会岡山支部長
〃	田村　恵	岡山大学国際部国際企画課長
〃	鶴海尚也	岡山県教育庁高校教育課長
〃	橋本信子	元 岡山県教育委員会委員長
〃	森　健太郎	学校法人 森教育学園理事長
〃	米岡高志	岡山県県民生活部国際課長
監事	髙垣　努	一般社団法人 日本旅行業協会中四国支部岡山県支部支部長
〃	吉岡　誠	岡山青年国際交流会顧問

（五十音順）

親子で遊ぼう-Family Friendly Event-　令和7年6月22日(日)

講師:ラファエル・ホーキンス氏
ノートルダム清心女子大学非常勤講師(オーストラリア出身)

今回の「親子で遊ぼう-Family Friendly Event-」では、42名の参加者で英語のINPUT & OUTPUTを練習できる3つのゲームを体験しました。

まずはアイスブレイクとして、親子で会場を歩き回りながら、ほかの参加者と英語で自己紹介を行いました。最初は緊張したり、恥ずかしがったりする子どもたちも見られましたが、ラファエル氏やボランティアの皆様のサポートもあり、最後には自信をもって楽しそうに英語で交流する姿が見られました。

最初のゲーム「Playing with Colors!」では、ラファエル氏が色のフラッシュカードを見せて、子どもたちがその色を英語で答えたり、発音の練習を行いました。次のステージでは、ラファエル氏が色を英語で言い、それを聞いて子どもたちが会場の中からその色を探すという内容でした。色を探しながら笑ったり、はしゃいだりする子どもたちの声が会場に響き渡り、このゲームを楽しんでいる様子でした。

親子で自己紹介Time!

次に、「Head, Shoulders, Knees and Toes」と「Raphael Says...」のゲームに移りました。

ラファエル氏が体の部位を英語で教えながら、その部分を指さす練習を行いました。言葉を覚えたあとには、「Head, Shoulders, Knees and Toes」の歌に合わせて体を動かし、スピードを速くしたり、ゆっくりにしたり、途中で止まって寝たふりをするなどの工夫もあり、子どもたちや保護者の笑いが絶えませんでした。後半は「Raphael Says...」のゲームへ。たとえば「Raphael says, touch your nose(ラファエルが言いました、鼻をさわって)」のように英語で指示が出され、「Raphael says」がつかない指示で動いてしまうとアウト、というルールです。こちらも、子どもたちも保護者も夢中になって楽しんでいました。

最後のゲームは、海外の子どもたちに親しまれている「Duck, Duck, Goose!」でした。日本の「ハンカチ落とし」によく似た遊びで、遊んだことのある参加者もいました。全員で円になって座り、"鬼"役となった親子が手をつないで「duck, duck, duck…」と言いながら円の周りを歩きます。そして「goose」と言われた親子が立ち上がって追いかけっこをし、鬼役の親子が捕まった場合はそのまま続けて鬼を担当し、逃げ切って「goose」の場所に座ることができた場合は、追いかけた親子が次の鬼になります。親子で走り回る機会に子どもたちは大盛り上がりで、会場は活気と笑顔にあふれていました。

Head, Shoulders, Knees and Toes の様子

寝たふりをする
ラファエル氏

外国人エッセイ
私の何でも自慢

ヤン・ウーさん
（ラオス シエンクアン県出身）
●日本滞在歴：4年 会社員

日本語学校の卒業式にて

アニメや文化をきっかけに日本に興味を持ち、現在は仕事以外に在日ラオス人のサポートにも力を注いでいらっしゃるヤン・ウーさんにお話を伺いました。

― 自己紹介をお願いします。

私の名前はヤンウーです。ラオスのシエンクアン県出身で、家族は12人います。私の故郷は世界遺産にも登録されているジャール平原もあり、自然豊かな地域です。山々に囲まれた静かな環境の中で、のびのびと育ちました。現在は岡山県内の企業で、貿易実務に携わりながら、ラオス人実習生の通訳・翻訳や生活サポートを行っています。言葉だけでなく、文化の違いにも気を配りながら、ラオスの仲間たちが安心して日本で生活できるよう努めています。自分の経験が誰かの役に立つことに、大きなやりがいと喜びを感じています。

出身地ラオス シエンクアン県の風景

― 日本に来てどれくらい経ちますか？

2022年の4月に来日して、今年で4年目になります。最初の2年間は大阪にあるファーストスタディ日本語学校で日本語を学び、2024年4月からは岡山県内の企業で働いています。留学中の2年間、私は新聞奨学生として、毎朝新聞を配達しながら学校に通っていました。朝早く、まだ暗いうちに自転車で配達し、雨の日も風の日も、時には台風の中でも配達を休むことはありませんでした。そんな中で、日本語能力試験N1に合格できたときは、本当にうれしく、努力が報われたと実感しました。決して楽な道ではありませんでしたが、この経験を通して忍耐力と責任感、そして夢をあきらめない強さを身につけることができました。

― 日本で働こうと思ったきっかけは？

高校生の頃から日本のアニメや文化に興味があり、「いつか日本に行きたい」と夢見てきました。2016年にはラオス国立大学の日本語学科に進学し、大学2年生のときに*JENESYSプログラムで初めて日本を訪れました。また、3年生のときには、半年間新潟大学に留学した経験があります。新潟大学での留学を通して、日本の文化や社会、そして人々の温かさに深く触れることができました。そして、「もっと日本で学び、暮らしたい」という思いが一層強まりました。将来はラオスと日本の懸け橋になりたい、という夢があり、その第一歩として日本で働くことを決意しました。どんな困難があっても夢をあきらめず、粘り強く努力を重ねてきました。日本語の勉強、日本への留学、そして日本で働くことも、決して簡単な道のりではありませんでしたが、諦めず挑戦し続けてきました。このように粘り強く努力してきたからこそ、今の自分があるのだと思います。

プレゼンをしている写真（2018年JENESYSプログラムで初めて日本に来たとき）

＊JENESYSプログラム…日本の外務省が推進する対日理解促進交流プログラム

― 日本に来て驚いたことは？

私が初めて日本に来たときに驚いたことは、時間を大切にすることと、心のこもった丁寧な接客文化です。電車が時間通りに来ることも驚きでしたし、コンビニの店員さんの「いらっしゃいませ！」という笑顔にも感動しました。あと、印象的だったできごとは、新潟で見た長岡花火大会の花火です。夜空いっぱいに咲く花火の美しさと、そのスケールの大きさに圧倒され、生涯忘れられない体験となりました。

花火の写真（長岡花火大会）

World なんしょん Now?
～岡山人からの便り～

今回は、自然が豊かなギップスランド（Gippsland）でパートナーや動物たちとともに新たな挑戦に取組んでおられる奈義町出身の佐桑理恵さんからの寄稿です。

佐桑理恵さん

私はオーストラリアのメルボルンに1995年に移住してきました。スリランカから留学していた夫とフィリピン大学で出会い、彼は1994年からメルボルンに住んでいます。

ミニヘレフォード（茶×白）とベルテッドギャロウェイ（黒×白）

日本で中学、高校の社会科教職免許を取り、オーストラリアで現地のセカンダリースクールに復帰するため、大学院（Master of Education）に進みました。オーストラリアで最初の仕事は、貨物輸送を扱う多国籍企業でセールスコーディネーターでした。その後、オーストラリアの私立セカンダリースクールに日本語教師として数年勤め、大学で日本語を教える機会を得ました。日本語教師として、現地の小、中、高校生、大学生、ビジネスマンに教えてきました。

ベストフレンズ（左からエラ（犬）、ベラ（ポニー）、ココ（犬）、ジャンゴ（犬））

2006年、資格や技術を持つ移民を対象としたキャリアマネージメントを行う会社を、夫と共に始めました。私たちの目的は、資格や技術を持つ移民にオーストラリアでその専門性を生かした職業に就かせることです。私たちの顧客は、オーストラリアの永住権を持つ人、難民、各国からの留学生などです。会社は、ビクトリア州政府から資金提供された様々なプロジェクトを行います。オーストラリアに移住して間もない移民の仕事探しのサポートができることは、やりがいのある役割でした。

メルボルンに来て30年が経ちます。二人の娘たちも大人になり、長女はキャンベラで独立し、次女は大学2年生になりました。二人ともオーストラリアに生まれ現地で育ち、日本語は第二言語として大学まで学びました。

ブラックランドパーク（牧場の名前）の夕日

2024年2月、山脈や美しいなだらかな丘にかこまれたギップスランドに牧場を見つけ、そこに移ることにしました。私の生まれ育った岡山県の奈義町も那岐山のふもとにあります。そこで中国山脈を眺めながら育つうちに、自然と山に親しむ生活が身についていたと思います。牧場経営は、初めての挑戦なので多くの失敗をすることでしょう。牧場には、牛、羊、山羊、ポニー、牧羊犬などの動物がいます。オーストラリアの春（9月～11月）は牧場の出産ラッシュで、子牛、子羊、子山羊が生まれ大忙しになります。新しい環境で新しい課題に向き合うことの連続ですが、楽しみながらやっていけたらと思います。

母と子羊

母牛と子牛たち（ミニベルテッドギャロウェイ）

ボランティア活動しています！

情報相談コーナー、ホームステイ・ホーム
ビジット、通訳・翻訳、IT、協会ボランティア

谷口 由美さん

情報相談コーナーのボランティアに登録して25年余りです。現在は月に一度の活動ですが、この年月に自分でも驚いています。

活動を通じて役立っていることよりむしろ教わることの方が多いと感じています。

東日本大震災直後に一人のアメリカ人女性が訪れました。被災された方々に自分は何ができるかと問われたのです。災害を身近な事として行動されようとしたのですね。

ほかに日本料理講座や県内一日バスツアーのボランティアとして参加しました。和やかな雰囲気でイベントは終わり、お互いに連絡先を交換していた人達もいました。国籍の異なった人々との出会いで、その後新たな交流が始まったのです。私自身もボランティア仲間はもちろんのこと、外国人の方とのメール交換等交流が続いています。

出会いと交流は、協会の理念である「多文化共生社会の実現」への第一歩だと実感しています。

作ってみよう！世界のレシピ

レシピ紹介者：
鄭海涛
（中国・武漢出身）
山陽学園大学2年生

中国五大麺の1つ 武汉热干面

湖北省武漢名物・熱干麺は中国五大麺のひとつです。朝食や小腹がすいた時におやつとして手軽に食べます。干面とは、干した麺という意味です。

干すのは、ゆでたときの水分を飛ばし、たれの濃厚さを楽しむためです。担々麺など濃厚な味が好きな方は、きっと気に入るはず。是非お試しください。

材料（1人分）

- 麺…………………… 1人前（中華麺、やや太めがおすすめ）
- ごま油 …………………………………………………… 適宜
  （ゆでた麺に風味をつけ、乾かす間にくっつかないように）
- たれ
  - 牛だしスープの素 ……………………………… 少々
  - 老抽＝中国醤油※ …………………………… 小さじ1杯
  （※日本のものより濃厚でとろみがあり塩分が弱い）
- 芝麻醤（胡麻ペースト）…大さじ2杯～3杯
  （たっぷりめがおいしい）
- トッピング
  - 小口ねぎ…………… 好みの量
    （多めがおすすめ）
  - 漬物等…………………… 適宜

作り方

①お湯を沸かして麺をゆで、ざるか、器にあげて、しばらく干す。

②ゆでた麺に風味をつけ、乾かす間に麺がくっつかないようにごま油を混ぜる。

③小口ねぎなどのトッピングを切る。

④麺とたれを混ぜ、お好みのトッピングを飾り、芝麻醤をかける。

⑤よく混ぜて召し上がれ。

★牛肉、焼き豚など肉系のものをのせると、グッと豪華になりますよ。

JICA寄稿

JICA海外協力隊2025年度秋募集のお知らせ

JICA海外協力隊は1年に2度募集があり、日本国籍を持つ20～69歳の方が応募可能です。派遣期間は原則2年間で、活動分野は農業、保健、教育、スポーツ、行政など様々なものがあります。海外に一歩踏み出し、ご自身の持つ知識や技術、経験などを生かしてみませんか？いつか応募してみたい、という方でもご相談ください。個別相談も受け付けています。

2025年度秋募集期間	2025年9月12日(金)～2025年10月14日(火)正午締切
募集要項の公開	2025年9月1日(月)
マイページ登録受付開始	2025年9月1日(月)
要請情報の公開	2025年9月5日(金)
次選考	2025年12月上旬～中旬（予定）
最終合否通知	2026年2月6日（予定）

～お問い合わせ、受け付けています～

JICA海外協力隊に参加してみたいけれど、自分に何ができるのか相談したい方や、国際協力や異文化理解に関する出前講座*をお願いしたい方など、随時ご相談を受け付けています。

*出前講座は、講師として岡山県内のJICA海外協力隊経験者にもご活躍いただいています。まずはご連絡ください！
https://www.jica.go.jp/domestic/chugoku/activities/kaihatsu/demae/index.html

国際協力に関するご相談は、岡山県JICAデスク（橋本）まで。
E-mail: jicadpd-desk-okayamaken@jica.go.jp ／電話：080-2934-8497
Facebook: https://www.facebook.com/jica.okayama

地域日本語教育事業レポート

「あかいわにほんご教室」からこんにちは

話題は「ベトナムの音楽シーン」

その教室のドアを開けると、まるで学校の休み時間のように、あちらこちらからたくさんの話し声や笑い声が勢いよく押し寄せてきます。「日本語学習者」は小さなグループにわかれて、自分が学びたいこと（例：買い物での会話、近所の日本人との雑談など）について「日本語学習サポーター」の支援を受けながら、日本語をどんどん話します。教材は誰でも無料で使えるオンラインの資料のほか、時にはスーパーのチラシやレストランのメニューだって活用します。学習者のレベルや希望に合わせて対話するので、誰も退屈する暇はありません。この教室では、教える人だけがずっと話して、学ぶ人が下を向いて黙ってメモをとるという光景は見られません。なんともにぎやかで生き生きとした教室です。

岡山県「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」のモデル事業として実施しているこの教室の主役は学習者とサポーターの両方です。日本語学習を通して、地域の住民同士の交流を深めています。

「日本の学校生活」をテーマに話しました

コーディネーターも楽しみます

赤磐市に次いで第2のモデル事業開催地となる吉備中央町では、そんなサポーターを育成する「日本語学習サポーター初期研修」を9月から開催します。興味のある方はぜひお申込みください。

吉備中央町では果たしてどんな教室が生まれるのでしょう？ 楽しみですね。

イベントカレンダー

※最新情報は当協会のホームページをご確認ください。

〈会場は、ワールド・エクササイズを除き岡山国際交流センターです。問合わせは、企画情報課まで。〉

EVENT CALENDAR

10月

国際貢献NGOフェア

10月のおかやま国際貢献月間に、県内の国際貢献に携わる団体のチラシ・パンフレット等を岡山国際交流センター1階ロビーに一堂に集め、活動をご紹介します。お気軽にお立ち寄りください。

- ●と　き　令和7年10月1日（水）～令和7年10月31日（金）※最終日は15時まで
- ●ところ　岡山国際交流センター 1階ロビー
- ●共　催　（特活）岡山県国際団体協議会（COINN）
- ●申込み　不要

国際貢献・協力セミナー

（岡山国際交流センター開設30周年記念講演会）

「映像が語る世界の現実と国際貢献の力
―ショートフィルムが紡ぐ未来への道―」

俳優として映画、舞台、テレビなどで幅広く活躍し、国際貢献活動にも積極的に取り組んできた別所 哲也氏を迎えて講演会を開催します。

- ●と　き　令和7年10月12日（日）14:00～16:00（開場13:30）
- ●講　師　別所 哲也氏（俳優／国際短編映画祭代表）
- ●対　象　原則、国際貢献や国際協力に関心のある県民
- ●参加費　無料　●定　員　120名程度（要申込み、先着順）
- ●申込み　企画情報課（令和7年9月12日（金）受付開始）

ワールド・エクササイズ

誰でも参加できるニュースポーツで一緒に体を動かしながら、国際交流します。

- ●と　き　令和7年10月18日（土）
- ●ところ　岡山県総合グラウンド体育館（サブアリーナ）
- ●対　象　県内に住む日本人、外国人
- ●参加費　無料　●定　員　60名（要申込み、先着順）
- ●申込み　企画情報課（8月受付開始予定）

11月

海外マガジン・書籍の無料配布

過去の海外マガジンと除籍になった書籍を無料でお配りします。

- ●と　き　11月8日（土）～11月15日（土）10:00～17:00（日曜を除く）
- ●ところ　岡山国際交流センター4階 図書資料室
- ●配布マガジン　TIME, NATIONAL GEOGRAPHIC, TUOI TRE CUOI TUAN, 読者, 人民中国ほか
- ●注　意　海外マガジン・書籍は一人1日5冊まで。譲り受けたマガジン・書籍の売却はできません。また、個人の読書・学習以外の目的に利用することはできません。

12月

日本文化体験・交流会

日本文化を紹介・体験し、在住外国人の日本文化への親しみや理解を深める機会を提供します。日本人もご参加いただけます。体験等を通して交流を深めましょう。

- ●と　き　令和7年12月（予定）
- ●対　象　国際交流に興味のある県民、県内在住外国人
- ●参加費　未定　●定　員　50名程度（要申込み、先着順）
- ●申込み　企画情報課（11月上旬受付開始予定）

留学生と県民との交流会

県内在住の留学生による出身地の文化紹介やフリートーク等を通して、交流を深めましょう。

- ●と　き　令和7年12月13日（土）13:30～15:30（予定）
- ●講　師　県内在住の留学生
- ●対　象　国際交流に興味のある県民、県内在住外国人
- ●参加費　無料　●定　員　50名程度（要申込み、先着順）
- ●申込み　企画情報課（11月中旬受付開始予定）

会報誌アンケートのお願い　今後の参考にさせていただくため、ご協力をお願いします。

『瀬戸芸美術館連携プロジェクト「平子雄一展 ORIGIN」』（県立美術館開催）ペアチケットを5名様にプレゼント！

令和7年9月23日（火）までにアンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名の方に、岡山県立美術館で開催される標記展覧会（会期：令和7年9月16日（火）～11月9日（日））のペアチケットをお送りします。発表は発送をもって代えさせていただきます。

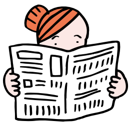
▲アンケートフォーム

瀬戸芸美術館連携プロジェクト「平子雄一展 ORIGIN」　●会期　令和7年9月16日（火）～11月9日（日）

植物と人間の共存関係の中に浮上するあいまいさや疑問をテーマに、スケールの大きな絵画および立体作品を発表し、国内外で活動を展開する現代作家・平子雄一の大規模個展。本展では、美術館の建築を活かした迫力ある展示空間を構成するとともに、対話型鑑賞なども取り入れ、同時代の美術の魅力を発信します。

平子雄一《Green Master 82》2023 作家蔵

会員募集



一般財団法人岡山県国際交流協会では会員を募集しています。

☆会員の特典
- ●会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供（年4回）
- ●メールマガジンの配信（月1回）
- ●協会主催事業への参加費割引（団体会員は1団体2名までを割引）
- ●入会時に記念品をプレゼント

☆年会費
個人会員：2,000円　団体会員：10,000円
賛助会員：30,000円

☆申込み・問合せ　総務課まで
TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30（月～土曜日）
E-mail:kokusai@opief.or.jp

最新情報は、当協会のホームページやFacebook、X（旧Twitter）等で随時お知らせします。

ホームページ　Facebook　X(旧Twitter)　Instagram

問合せ

一般財団法人 岡山県国際交流協会
企画情報課　☎086-256-2914（月～土　9:00～17:00）
総務課　☎086-256-2000（月～土　9:00～17:30）
会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905（9:00～17:30）
［休館日］12月29日～1月3日及び臨時休館日（ただし日曜日は貸室業務以外休み）

■編集・発行
〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1
岡山国際交流センター内 一般財団法人 岡山県国際交流協会
TEL 086-256-2000（月～土　9:00～17:30）
FAX 086-256-2226
ホームページ：https://www.opief.or.jp
Facebook：https://www.facebook.com/coolopief/
X（旧Twitter）：https://twitter.com/opief_okayama
Instagram：https://www.instagram.com/opief_okayama/
E-mail：kokusai@opief.or.jp